



Active stage at HK

～東海南中学校だより～ 令和4年6月号



野球部快進撃！ 紀北大会準優勝

コロナの影響で2年間開催できなかった春季大会。今年は4月23日からGWにかけて全競技で開催されました。特に3年生にとっては最初で最後の春季大会でした。しかし、大会直前に学級閉鎖となり出場を辞退する学校が各競技で見られました。東海南は学級閉鎖もなく全クラブが出場し、これまでの練習の成果を発揮すべく勝負の舞台に立ちました。東海南生の活躍を紹介します。



野球部が紀北大会で快進撃。下津二中と合同チームを組む本校は、1回戦で和歌山市の強豪東和と対戦。練習試合では一度も勝なかった相手を3-2の接戦で制しました。その勢いで、2回戦は西脇・有功合同チームを12-0のスコアで圧倒し、3回戦は岩出に1-0で辛勝。準決勝、湯浅・箕島合同チームとの試合では、橋爪君が1安打完封の快投を見せ2-0で勝ち決勝へ。決勝は全国大会常連校の日進中。清水君が力投し、全員でよく守り2-1とリードして最終回に。しかし、日進の粘りの前に逆転サヨナラで敗れました。

もう少しで優勝に手が届いていただけに残念ですが準優勝は立派です。清水君・橋爪君（写真上）の投打における大活躍が原動力でしたが、それを支えた堅い守り、岩出戦で1点をもぎとった下位打線の活躍、ベンチの必死の声援など、全員で勝ち取った準優勝です。選手にとっては、この3週間、勝ち進んでいくことがたまらなく楽しかったことでしょう。のびのびと笑顔を絶やさずプレーする選手の姿に、大きな成長が感じられました。



バスケットボール部。男子は野上中、女子は巽中と対戦しましたが、相手との実力の差は大きく、残念ながら大差で敗れました。その中でも、途中足を痛めても最後まで声を出して走りきった川添君（写真右）や、何度もルーズボールに食らいついていった表野さんの闘志あふれるプレーが印象に残りました。夏はしびれるような接戦を期待します。



ソフトテニス部。個人戦、仲・尾田ペアが3位、藤田・前田ペアが5位に入賞、崎山・田中ペアと尾前・山崎ペアもベスト16で県大会への出場を決めました。団体戦、男子は美里中と海南中に勝ち3位。

男子は各校の実力が伯仲しており、本校も流れ次第で十分に優勝を狙える力をつけています。流れをつかむには声を出すこと。夏はすべてを出し切ろう。女子は3年生3人で団体を組まずオープン参加でしたが、美里中・三中に5試合とも勝利しました。もし、メンバーが揃っていたら・・・。



西岡君 ぶっちぎいで優勝

陸上部は海南市民スポーツ大会に出場。海南市とは言え、和歌山市の学校もほとんど参加している県大会レベルの大会です。



そこで快挙！男子3000mで西岡君(写真左)がスタートから先頭に立つと、まったくペースを落とさず後続を引き離し、和歌山市の強豪を抑えて優勝しました。タイムは9分56秒21と自己ベストを20秒近く更新。初めて10分の壁を破りました。朝練でいつも北面先生に付いてハイペースでの練習を繰り返してきた成果がいきなり出た形。練習での手応えが明らかに自信となり、相手は関係ないくらい迷いのない見事な快走でした。

バレーボール部。予選で三中と対戦しましたが、第1試合で全体的に堅さが目立ち、実力を出せないまま敗れました。そして、決勝トーナ

メントでは、優勝した下津一・二中合同チームと対戦。第1セットは、12-5でリードする場面もあり大接戦となりました。エース土谷さん(写真右)のスパイクがどんどん決まり、ミスも少なく、お互い声をかけあい、「もしかしたら」と思わせるような雰囲気でしたが、最後は押し切れられ20-25でセットを取られ、そのまま敗退。しかし、強豪チーム相手でも、のびのびと自分らの力を発揮すれば、十分に戦えるという手応えをつかんだのではないのでしょうか。

中学生は大きくメンタル(精神面)に左右されます。せっかく練習してきたのだから、結果はどうであれ、持っている力をすべて出し切ってほしいです。そのために、声とコミュニケーション。普段の練習から心がけましょう。3年生は夏の総体まで2ヶ月を切りました。この2ヶ月は集大成ですね。



時にはこんな時間も 親子読書

今年もGWの課題として「親子読書」を実施しました。共通の読み物を通して、親子で感じたことや



考えたことを話し合うという企画です。今年は、詩「夕焼け」、芥川龍之介の「蜘蛛の糸」、道徳教材の「はじめての練習試合」から一つ選んで読みました。保護者の方の感想(抜粋)を紹介します。

【夕焼け】・自分が辛い思いをするばかりじゃなく、自分に優しくできることも大事だなと思いました・人の優しさを当たり前には思っていない。優しい人が傷つかない世の中になってほしい。【蜘蛛の糸】・この話が伝えたいこと

は何か、自分ならどうするかなど一緒に話し合うことができました。・自分自身を見つめ直し、取り返しがつかないことにならないように、考えて行動しなければいけない。【はじめての練習試合】・(SNSは)面と向かわないから簡単に感情をぶつけてしまう。そこに他者が群がる。恐ろしいですね。・人が互いにフォローし合うことが、どんなに素晴らしいことかよく考えてほしいものです。・子ども達には、顔の見えない気持ちの分からないやり取りよりも、生身のコミュニケーションが一番大事にしてほしいと常に言い続けています。/ たくさんの感想を書いていただきありがとうございました。時には読書などいつもと違う話題について、親子で会話する時間もいいですね。